

[特集1]

「あの訪問での失敗」が 教えてくれたこと



「精神科訪問看護には唯一の正解がない」——。患者・利用者とのやりとりを繰り返す中で、その人だけに合った支援が形作られていくのだと、実践者は言います。

もちろん、うまくいくことばかりではありません。

先回りして動いてしまったことで裏目に出たり、そもそも本人のニーズを取り違えていたりするなど、今、現場で活躍する実践者たちも失敗を重ねてきたのだと言います。

本特集では、精神科訪問看護で実践者に過去の失敗談を教えていただきました。どんな失敗だったのか、それはなぜ起こってしまったのか。経過が細やかに振り返られることで、大切にすべき支援のあり方、支援者に求められるスタンスも浮き彫りになってきます。

一人ひとりの患者・利用者さんに正面から向き合った支援をしたいと願う、あなたを後押しする特集です。